

◆第4回目ゼミナール開催結果

下の内容でゼミ生で意見交換を行いました。
ゼミ生から出された意見を紹介します！

今回の意見交換テーマ

「私に議員になれと言うなら、
こういう環境を整えてほしい」

『私に議員になれと言うなら、こういう環境を整えてほしい』

ゼミ生が考える立候補への障壁や困難、不安等を解消するためには、どのような環境整備、条件が必要でしょうか？ゼミ生が各班に分かれ、意見交換を行いました。

以下、出された意見（黒字）に対して、必要な環境整備・条件を青字で示しています。

I班 立候補や議員活動の準備・適正

重要度
高い

- 
- ①
 - ・過疎地域からの人選や予算の優越
 - 票の数だけではない区割的制度をつくる
 - 人数の少ない意見にも耳を傾ける
 - 過疎地域は出馬費用の補助を大きくする
 - 選挙をなくし、総会制度に
 - 議員定数を増やす
 - 選挙区を増やす
 - ②
 - ・議員となる適性検査があれば受けたい
 - ・選挙活動が1日で終わらないよう、議員候補の確保
 - ・仲が良い人たち、趣味が同じ人たちでグループを組みたい
 - 議会ゼミナールに参加して勉強する
 - 友達も立候補させる。議員になってから友達になる
 - 各種団体や役回りを減らす
 - ③
 - ・選挙時の費用を全額負担してほしい
 - ・選挙にお金がかかるのは無理
 - ・議員は紹介制にしてほしい。友達を自由に呼びたい
 - ・今、勤めている会社を続けて勤務できるようにしてほしい
 - ・議員任期中は休職扱いとしてほしい
 - ・仕事を辞めなければならないときに、スムーズに仕事に復帰できるよう約束・決まりをつくる
 - リスクを承知で立候補する
 - 選挙にかかる費用を10万円以下にする
 - ④
 - ・選挙のことを何でも知っている人にいてほしい
 - ・勉強会を開催してほしい
 - ・選挙のノウハウを伝授してほしい
 - ・後継者づくり
 - 学校教育に積極的に選挙制度や議会運営を取り入れる
 - 25歳向けに議会のゼミを開く
 - ⑤
 - ・町や地元のことが分からない
 - 町政や地元のことをよく調べて理解してから立候補する
 - ⑥
 - ・議員活動で議会事務局の事務室を借りたい
 - ⑦
 - ・家族・親族の心からの応援・協力
 - 議員全員がYoutubeを始める
 - 議員の仕事量・活動量を分かりやすくする
 - SNSのように議員活動報告として意見を書くところをつくる
 - 議員の一体感を出す。同じポロシャツ
 - いろいろなイベントでの議員の席をなくす
 - ⑧
 - ・悪口はなし。リスペクトのみ
 - ・議員の定年を決めてほしい
 - 悪口を言われて対応するところをつくる
 - 考え方を修正する

低い

2班 収入・報酬と働き方の不安

重要度

高い



低い

①

- ・安定した給料が欲しい。30万円以上
- ・収入は35万円以上欲しい
- ・議員報酬30万円以上欲しい
- ・安定した報酬、職務に専念できるだけの収入が欲しい
- ・議員だけの収入で生活していける給料
- ・議員報酬をもっと上げていただかないとできない
- ・収入が少ない。議員活動費、選挙費用が釣り合っていない
- ・手取りで1か月100万円で決定！
- ・議員報酬を倍にしてほしい。手取り30万円は欲しい
- ・手取り30万円以上欲しい
- ・収入の安定・料金額
- 有権者に議会の給料を理解してもらう
- 神河町独自の決まりをつくる

④

- ・出馬時の資金が用意できないので、全額負担してほしい
- 出馬時の費用は全額町負担
- 選挙費用の貸付制度を設ける

⑦

- ・車を用意してほしい。交通費を出してほしい
- 近い人には自転車を支給
- 議会での活動時、車補助
- 交通費負担。バス定期・回数券
- 議会以外の活動に応じた費用負担・手当
- 町のマイクロバスで送迎

⑩

- ・学校に通いながら行けるようにルールを変えてほしい
- 立候補できる年齢を下げる

②

- ・選挙に落選した場合、復職できるようにしてほしい
- ・落選した場合は、次の仕事が見つかるまで1か月100万円もらえる
- 制度をつかった会社に補助金を出す。表彰する。優先して仕事を出す。
- 議員在職中は休職扱いにする
- 育休みたいな休暇制度にするよう町から会社へ話をする

③

- ・町長と同等の報酬が必要
- 議員の仕事量が分かる仕組みづくり
- 有権者に議会の給料を理解してもらう
- イベントへの出席を減らす

⑤

- ・仕事と区の役と議会の掛け持ちは無理
- 議員になったら区長免除

⑥

- ・議員の仕事内容を評価し、給料を変動させる

⑧

- ・ローン全般は利息免除！

⑨

- ・保険料免除
- ・子どもを預けた場合の子ども手当があればありがたい
- 議会開催時は保育園、幼稚園で子どもを見てもらえる
- 議会に保育施設をつくる

3班 家族や生活への影響

重要度

高い



低い

①

- ・子連れの参加を認めてください
- ・子育て優先を許してくれる環境を整えてほしい
- ・子どもサポートの環境を整えてほしい
- 子どもの行事は休んでOKのルールづくり
- 託児所を設置する
- テレワークを可能にする

②

- ・家政婦とベビーシッターをつける
- ・家族手当が欲しい
- ・子どもの行事は優先して出席できるようにしてほしい
- 子育て・介護の手当を出す
- 子ども議会のような取組をして、子どもたちの理解を深める場をつくる

③

- ・携帯電話を用意してください
- ・出席時の服代が高いので、ユニフォームを作してほしい
- 携帯電話やユニフォーム貸与のルールをつくる

④

- ・オンライン環境を整えてほしい。来たときには機材が揃っている
- オンライン環境を整える
- スマホ教室があればよい

⑤

- ・長期休暇を取れるようにしてほしい
- ・確実な休日がほしい
- ・夏・冬休みのような長期休みが欲しい
- ・7日以上休みが取れるようにしてほしい
- この日は全員休み!!という日を定める
- 事前に休暇届を提出する

⑥

- ・用事があるときは遠慮せずに休める雰囲気
- ・休みを取れるようにしてほしい
- ・年に数回、1週間くらいの長期休暇を取ってもよい
- 有休のような申請ができる制度をつくる

⑦

- ・人間ドッグを受けます
- 町ぐるみ検診を全員受けましょう

⑧

- ・お得なメリットが欲しい
- ・何か議員の特権が欲しい
- ・立候補に反対する家族・親族を説得してほしい
- ・家族には迷惑をかけないでほしい
- ・研修旅行に行きたい

4班 議員活動に伴う社会的影響・心配事

重要度

高い



低い

①

- ・議員になったからという圧をかけないでほしい
- ・議員の仕事をどこまでするのかの線引き
- ・議員なんだからという目で見ないでほしい
- ・議員さん同士がぎすぎすせずに穏やかに
→議員の顔と名前を秘密にする
→選挙活動で頭を下げすぎない。公約を伝えよう

④

- ・公職選挙法を教えてほしい。スキルアップのためのセミナーを開催してほしい
- ・議員を目指す者に選挙・議会・行政について講義してほしい
- ・町民と定期的に対話できる場づくりをしてほしい
→議員養成講座を開く

⑥

- ・公用車を用意してほしい

⑧

- ・すべての待ち時間をなしにできる！！

⑩

- ・サンドバッグとグローブがほしい
- ・ジムに行く時間は確保！
- ・週に1回は必ず肉を食べに行きます
- ・ストレスがたまったときの専属カウンセラーがほしい

②

- ・スタイリスト、ヘアメイク、マネージャー、秘書をつける
- ・議員の制服といえるスーツ代を支給してほしい
→SNSで誹謗中傷禁止のルールをつくる

③

- ・議会の時間帯の変更と委員会の廃止を決める
- ・定数を増やす。12名→20名。審議の精度が上がる
- ・議員、執行部ともに今までの当たり前の雰囲気をやめ、常に新たな意見として向き合してほしい

⑤

- ・すべての式典には出席しません

⑦

- ・議員・議会に関心のある社会になってほしい
- ・議員が仕事している日が分かり、休みの日は自由にさせてほしい

⑨

- ・どんな税金も一切払いません！
そのためにがんばる！
→公約達成グラフをつくる→手取りを増やす